

ヨン

昭和精工の開拓回顧

5年ごとに新技術開発

技術コンサルで存在感

櫻山 剛士社長



いる条件もあり、一部については2011年の市場投入を期待している。

ルなどの自社製品も手掛けており、医療機器の10年

10月期売上高見込みは4

約半世紀の歴史を持つ企業が多い金型業界。歴史と伝統を重んじながらも、国際競争など厳しい環境で勝ち残りを考えれば事業革新は避けて通れない。30代、40代の若きモノづくり企業のリーダーは今、何を考え、どう改革しようとしているのか。型技術協会が都内で開いた型技術者会議のパネルディスカッション「若手経営者に聞く将来を見据えた経営戦略」に参加した3人のトップの発言から、事業承継の課題やビジョンのあり方を探る。

昭和精工（横浜市金沢区）の木田成人副社長は3年前、兄の哲朗社長とともに父から事業を受け継いだ。「下請けにはならない。1社依存は危険。1業種に偏らない。お金をしない」といった経営方針を貫いている。

金型づくりで培った技術ベースに、プレス機

昭和精工



木田 成人副社長

櫻山 金型工業



櫻山 剛士社長

金型業界

若きリーダーの戦略

事業承継と今後の課題

約半世紀の歴史を持つ企業が多い金型業界。歴史と伝統を重んじながらも、国際競争など厳しい環境で勝ち残りを考えれば事業革新は避けて通れない。30代、40代の若きモノづくり企業のリーダーは今、何を考え、どう改革しようとしているのか。型技術協会が都内で開いた型技術者会議のパネルディスカッション「若手経営者に聞く将来を見据えた経営戦略」に参加した3人のトップの発言から、事業承継の課題やビジョンのあり方を探る。

（木田副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

（鈴木社長）

（鈴木副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

（木田副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

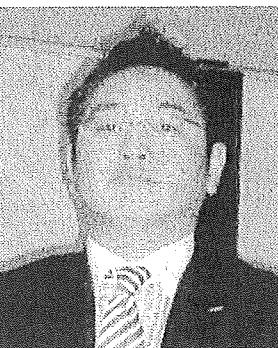
（木田副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

（木田副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

（木田副社長）との危機意識を持ち、行政の支援策の活用にも熱心だ。

最上インクス

鈴木 滋朗社長



顧客とともに製品づくり

ノづくりを次世代につなぎたい」と力を込める。

（鈴木社長）

（鈴木社長）

（鈴木社長）

（鈴木社長）

く考えた。「仕事を待つのではなく顧客とともに製品をつくり出したい」

（鈴木社長）

（鈴木社長）

く考えた。「仕事を待つ

のではなく顧客とともに

（鈴木社長）

（鈴木社長）

く考えた。「仕事を待つのではなく顧客とともに製品をつくり出したい」としなが

らも、現地企業との取引ではなく「困っている海

外の日系企業の技術支援やコンサルティングで存

在感を出す」（櫻山社

（鈴木社長）

（鈴木社長）